

AJU愛実

認定

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／紙風船)

定価：一部100円

第59号 会報

福祉の創造 安心できる居場所/ 理事長 戸田 真二	… P1
居宅介護事業所あみ	… P2
大地の家（生活介護）	… P3～P4
紙風船（生活介護）	… P5～P6
防災特集 南海トラフ地震 ～大津波警報～	… P7～P8
辺野古・大浦湾のサンゴと海亀/ 島 しづ子	… P9
寄付者名簿	… P10



大地の家 セントレア フライトオブドリームズにて

福祉の創造 安心できる居場所

理事長 戸田真二

人生100年時代、医学の進歩により人間はとてもし長生きをするようになりました。特に日本は世界トップの長寿国です。高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくるのが重要な課題となっています。(厚労省:人生100年時代構想会議より)

このことは障がい者も例外なく、2000年時と比べ40歳を超える重度の障がい者の数は4倍になっていることが今年NHKの統計に記されていました。生まれた時に20歳まで生きられないと医師から宣告されていた我が子が40歳を超えて元気に暮らしている例は少なくありません。小さい頃は子どもの成長を誰もが喜びます。20歳を過ぎてからの長い年月を懸命に生きて来た親子の姿には本当に頭が下がります。そして、一方では老々介護80 50問題が障がい者介護の深刻な問題になって来ました。愛実の会のメンバーの平均年齢は現在36歳ですが、約半数は40～50代となりました。親の高齢化は進み、加齢と共に介護負担は大きなものになっています。

先日、家族向けに将来のメンバーの暮らしについてのアンケートを取り、その結果に少し変化が見られるようになりました。以前は将来の選択は入所施設への希望がほとんどでした。自分の体力の限界まで頑張りたい。そして最後の最後は入所へ。一心同体、そんな思いが伝わってきます。親御さんの年代やメンバーの障がいの程度によって違いはありますが、今回の結果は、グループホームやシェアハウス、ショートステイへの希望が増え、自分が元気なうちに自分以外の人との暮らしを体験させたい親が増えていることに驚かされます。

2022年9月からスタートした愛実の会独自のシェアハウスの実践は、今までのグループホームとは違い、よりメンバーに寄り添った地域生活支援のスタイルを実現しています。こうした取り組みが新たな希望を生み出していることを感じます。近年グループホームは企業参入により激増していますが、障がいの重い方への対応は非常に厳しく、人員配置基準においては全く十分ではありません。希望があっても現実には居場所が見つからないのです。愛実の会が目指すものは安心して託せる居場所を創ることです。生活介護(日中支援)居宅介護(ホームヘルプ)シェアハウス(地域生活支援)すべてに共通のキーワードは「安心できる居場所」です。現在のシェアハウス「COPAN(コパン)」はまだまだモデルケースでの利用ですが、地域と連携しながら新たなかたちを構築していく所存です。今後更なる展開を目指してまいりますので皆様、どうぞご支援をよろしくお願いいたします。

愛実の会理念 (冒頭文)

いまの社会は効率第一主義の価値観によって多くの人が生きにくくされている。このような時代にあって、愛実の会のメンバーはそれぞれのペースで一生涯懸命に生きている。愛実の会は、メンバーの中にある輝く個性に導かれながら、彼らの存在を社会に紹介し、すべての人が生きやすい社会を作っていく。

居宅介護事業所あみ

ガイヘル日記 ～リニア鉄道館へ～

加藤 誠

7月23日、市バスとあおなみ線を乗り継いで約1時間、金城ふ頭にあるリニア鉄道館に遊びに行きました。なかなか一人では行くことが難しく、今回はヘルパーさんと一緒です。リニア鉄道館へは久しぶりで、目の前の新幹線がとても大きく見えて感激しました。僕が一番見たかったのは来年1月に引退するドクターイエローでした。ドクターイエローは迫力があってカッコよかったです。そして車いすから降りてヘルパーさんに手を引いてもらい車内に入りました。黄色のドクターイエローは新幹線のお医者です。最前列の座席に座わって、紹介ビデオを見ました。そして真夜中に線路の点検作業をしている人がたくさんいることも知りました。

次にリニアの乗車体験をしました。最初は、タイヤで走り速度150キロになると、車体が浮きながら走ります。最高速度は500キロ、振動がなくなりとっても静かでビックリ!! 開通まで元気でいられたら乗ってみたいと思いました。今まで一人だと見るだけでつまらないことが多くありました。ヘルパーさんがいるとおしゃべりしながら安心して過ごすことができました。一人の時とは全く違う景色が見え、とっても楽しい一日でした。



介護の仕事に従事して

宮川 昭明

コンピュータソフト会社を65才で退職し、十分にリフレッシュした後で、次は介護の仕事と思い、介護職員初任者研修を受講しました。障がい者を抱える家族としてサポートをしてもらい、次の仕事は逆に少しでも支える側に立てたらいいなと思った次第でした。実際に研修を受けると、介護・福祉サービス、老化、認知症、制度、生活支援、介護技術のこと等、実に多岐に渡っていましたが、体系的に学ぶことができました。脳性まひで生まれた息子の等(ひとし)を30年、高齢者サービス住宅で父を4年面倒見ましたが、これらの研修を受けていたならもっと優しく的確にできただろうと思いました。父については本当のところは我流で世話していたなあと悔やむばかりです。6月末より大地の家でデイサービスの仕事に従事して、新しいことや覚えることが多く大変ですがメンバーの笑顔に励まされ、アシスタントの皆様の温かいご指導に感謝して頑張っています。9月からは登録ヘルパーとして居宅介護の仕事が始まりました。縁あってご近所の70才の障がいのある方の生活支援を毎週1回しています。また、通院・外出支援で2か所の病院に同行しています。ご自宅に訪問して生活支援していく中で利用者様のご要望を少しずつ実現し、片付かなかったことが整理されていき、利用者様が喜んでいただけると私自身も嬉しくなります。一方、通院・外出の支援は公共交通機関を利用しているので一緒にいるだけで役に立っているかわかりませんが、利用者様は「長い道中、こうやって話し相手になってもらえるのが有り難い。」と言われたので、今後も利用者様へ寄り添い、慌てず、ペースに合わせて行こうと思っています。



大地の家

(生活介護)

セントレア & フライトオブドリームズへお出かけ



フードコートにて

今年度は近場のお出かけからだんだんと遠くのお出かけにも挑戦し、外が涼しくなってくる頃を見計らって本格的にお出かけを始めました。



5, 6, 7月には近場でのお出かけでしたので、もっと遠くに行けたらいいなということで、真夏の暑い時期を避け10月に中部国際空港(セントレア) & フライトオブドリームズにお出かけしました。

高速道路を使つての外出は4年ぶりです。今まで近くでしか余暇活動を体験できなかったメンバーや久しぶりの遠出のメンバーにとっては、また違った活動風景となったかもしれません。

私たちは昼食はターミナル1、駐車場はターミナル2の駐車場を使いました。その間歩いての移動となるのですが、普通に歩けば5分程の距離の所、車椅子を押しながらだと片道10分以上かかり移動だけでも汗が噴き出してくる有様でした。それでも移動中に動く歩道に乗ることができたり、空港内の広い空間にテンションが上がったりするメンバーがいたりそれぞれが思い思いの時間を楽しめた様子でした。

昼食はフードコートで海鮮丼でした。シャケといくらがこんもりと盛られたどんぶりを食べているメンバーの姿を見て、外に出て食べることはやっぱり楽しいなと思いました。刺激を多く受け、普段の活動ではなかなか見られない表情を見せてもらい、広い空間ならではの雰囲気を感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。

フライトオブドリームズは空のテーマパークということもあり、飛行機に乗ったかのような体験ができました。初めに大きな飛行機を真下から見上げました。大きすぎて全体像を一度に確認するのは難しいですが、前方から後方にかけてゆっくり移動しながら飛行機を眺めることで全体像を確かめることができました。

その後、かつて使われていたビジネスシートにメンバーやアシスタントが座って空の快適な空間を体験してみたり、展示コーナーで飛行機の模型を見たり、歴史を学んだりしました。

今後もお出かけをする予定ですが、現地ではしか体験できないことをどんどん体験していき、その場所ならではの雰囲気を楽しんでもらえたらと思います。そのためにも普段のメンバーの様子や何気ない会話等、日常生活の充実にも力を入れ、大地の家の居心地の良い空間をもっと増やしていけたらと思います。



フライトオブドリームズにて



刈谷でいもほり体験



今年度5回目の外出は、『名古屋ワイズメンズクラブ』の皆さんにご招待していただき、メンバー8名と刈谷にある南山ハーベストクラブ農園へいもほりに出かけました。

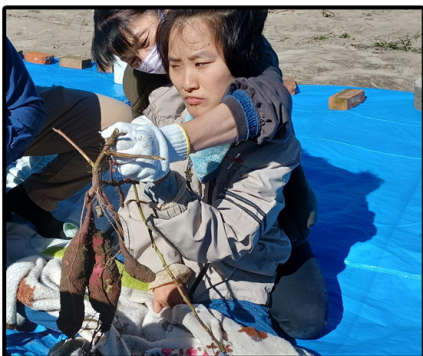
名古屋ワイズメンズクラブの皆さんが事前に準備をしてくださっていて、当日はとても快適にゆっくりとさつまいも掘りを楽しむことができました。メンバーがいもほりをしやすいように、畝の周りのスペースは土がなだらかにならしてありました。そこへブルーシートと毛布を敷き、メンバーは車椅子から降りて芋掘り体験に参加しました。



それぞれのメンバーが収穫しやすい姿勢や方法でアシスタントと一緒に参加しました。収穫が始まると、一人ひとりのメンバーに名古屋ワイズメンズクラブの方がついて手伝ってくださりました。メンバーが収穫しやすいようにさつまいものツルの周りを掘り起こしたり、土をほぐしたりする配慮がとてもうれしかったです。



畝から伸びているツルをメンバーが手で握って引っ張り収穫しました。目の前の土の中から、大小たくさん連なったさつまいもが収穫できると、メンバーも得意気な表情をしていました。ツルを上手に引っ張り収穫することのできたメンバーが多くいました。他にも、思いっきり引っ張ったツルがブチッとちぎれて、体が後ろによるけそうになりびっくりするメンバーがいたり、土やさつまいもに触れた感触に驚いて投げ捨てるメンバーがいたり、それぞれの参加方法でいもほりを楽しんでいただいていたように思います。



一時間ほどいもほりをして、畝のさつまいもはほとんど収穫することができました。さつまいもの種類は紅あずまと紅はるかなんだよ〜と説明を受け、「持って帰れるかな?」「スイートポテトにしても美味しいよね」とコミュニケーションを楽しむ様子もみられました。

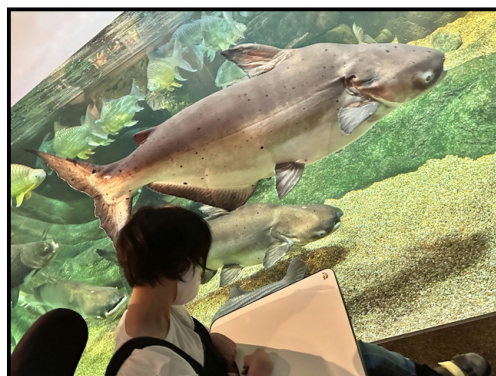
普段からさつまいもを食べるているメンバーですが、実際に掘って収穫するという体験は初めてするメンバーも多かったと思います。このような貴重な体験ができたことはメンバーにとっても多くの刺激になり、楽しい時間を過ごすことができました。来年も是非いもほりをしたいなあと思いました。



紙風船のページ

外出レク復活！！

アクアトぎふ 9/11



今年度、ようやく愛実の会でも外出、さらに外での飲食が可能になりました。待ちに待った外出レクの復活です。紙風船に入ってから一度もみんなでおでかけして一緒にご飯を食べるという経験をしたことのないメンバーもあり、期待は高まるばかりでした。グループで行きたい場所を念入りに調べ、初めは岐阜県のアクアトぎふへ行ってきました。世界の河川に生息する迫力ある淡水魚またカピバラやカワウソなど、かわいい小動物に癒されながらゆったりと館内を回りました。フードコートのご飯にも大満足！

二か所目は岡崎にあるぶどう園でのぶどう狩り体験でした。この日、もう一つのお楽しみは「びっくりドンキー」でのハンバーグランチ。すぐに食べ放題のぶどうが待っていることがわかっているにもかかわらず、メンバーは一人前のハンバーグをペロリ！そして、ぶどう園ではバリアフリーの果樹園を紹介してくださり、手の届くぶどうを自分で採ることが出来ました。メンバーは少し非日常的な時間を体験し、キラキラとした表情にあふれていました。

今年度はあと一か所外出レクの予定があります。楽しみです！

ハンバーグとぶどう狩り 9/27



ハンバーグディッシュにご満悦！

ぶどうの木の下で

リメイク！ポンタとたっくん

紙風船は今年度、人形ボードビル(セリフのない人形劇)「ポンタとたっくん」の完全リメイクに挑戦してきました。道具や人形の作り変え、メンバーに合った操作法の見直しそして何よりアシスタントの動きの大幅チェンジ…

おばら先生も全面協力してくださり、限られた時間、少ない人数の中でも努力のかいあって何とか10月の「ひまわりホール子どもアートフェスティバル」でお客様にお披露目することができました。

導入での紙芝居の効果もあり、終わった後には「分かりやすくなったよ」「少人数でもできるんですね」などの感想もいただきました。メンバーも、セリフだけではない表現方法にチャレンジをしたことで、また一つ自信がついたと思います。



もう一つのパペフェス

@名古屋芸術大学アーツクエア

また、8月には「北なごやパペットフェスタ」にも参加させていただきました。ここでこの演目は紙風船の代表作品「ボーちゃん」でした。ボーちゃんが、失敗してもくじけずにつぶやく言葉があります。「まあ、いっか。ぼちぼちいっか！」… このセリフで私たちは、自分に今できることを精一杯頑張ってきました。これから「ボーちゃん」も他の作品もどんどん変化をしていく予定です。さらにパワーアップしていく紙風船の人形劇をよろしくお願ひ致します。



公演依頼を募集しています。多くの方に紙風船の人形劇を観ていただけたら幸いです。また、遠方の方にはZoomでのオンライン公演も実現することができます。どうぞお気軽にお問い合わせください!!

紙風船HPはこちら→



防災特集

南海トラフ地震 ～大津波警報～ 垂直避難訓練の実施

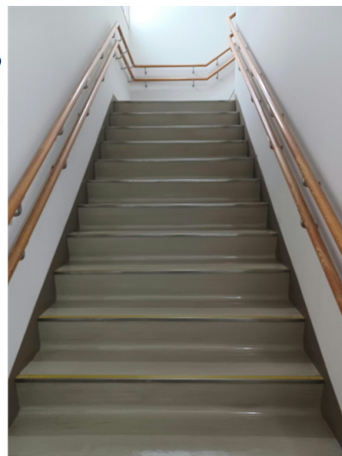
名古屋市港区木場町に位置する愛実の会の建物は平屋で標高が1.5mです。南海トラフ地震により想定された津波の高さは2.8m。建物への浸水は免れません。2階がないため、大津波警報時は指定避難所：東築地コミュニティセンター(コミセン)への避難を予定しています。

9/13(木)避難訓練を実施。津波の到達時間は100分です。目指す場所はコミセンの2階。デイセンター愛実に通うメンバーはほとんどが車いすを利用する重度の障がい者ですから、移動の際は1対1。アシスタントは非常持ち出し袋を背負い、両手を空けて車いすを押して避難を開始。

コミセンまでは5分足らずで到着。ここからが一番の難所となりました。立ち上がる階段は20段。自立歩行ができるメンバーはほとんどいません。メンバーを担ぐことも難しく、車いすごと階段を昇る垂直訓練が必要とされました。この日のメンバーの参加者は15名。勿論アシスタントも15名です。20段の階段は私たちにとっては脅威であります。訓練と言えどもリスクが高く、当日はデイセンター愛実の玄関にある7段の階段を使って訓練を行いました。アシスタントが前後に付き、後輪を利用して1段ずつ声を掛け合って昇っていきます。こうした訓練が日常から行われ、いざという時に冷静に対応できるかが課題となりました。

まずは命を守ることが第1。そして、災害時は共に助け合う共助のしくみが地域に求められていることを強く思います。インクルーシブ防災は誰も排除されない避難所をイメージしていますが、実際は避難所に障がい者はいないことが災害の度に報告されています。最近では「誰も取り残さない防災」がSDGsが広まる背景に基本的な考え方となって来ました。

次回の訓練ではコミセン2階へ挑戦です。訓練で出来ないことは、本番でも難しいことは承知しています。すでにエアバック担架も購入し新たな対応も考えていますが、地域ぐるみでの訓練を目指していかなければ共助はあり得ません。地域の皆さんどうぞご協力をお願い致します。



コミセン20段の階段



後ろ向きに前輪を持ち上げ
後輪で1段ずつ昇っていきます



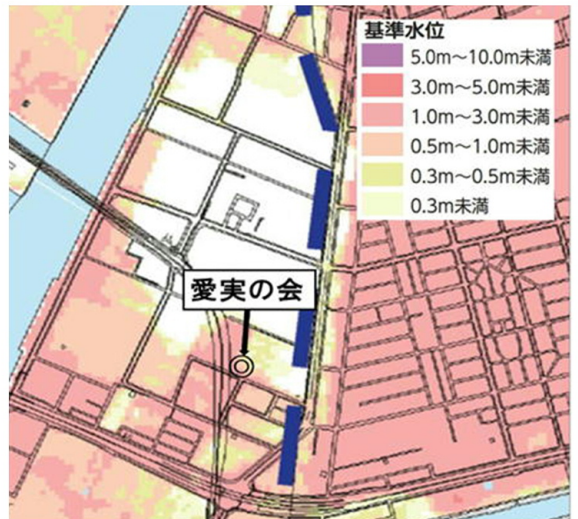
せ～の！よいしょ！



指定避難所：東築地コミュニティセンター

誰も取り残さない防災への取り組み

1. 7/23(火)指定福祉避難所説明会
東築地防災センターにて
内容:災害時の備えについて
利用希望者18組(メンバー+家族)定員20名
2. 9/2(月)安否確認訓練
12:30緊急mlにてスマホへ一斉送信
Googleフォームアンケートにて安否を確認
3. 9/5~6 シェイクアウト訓練の実施
繰り返し訓練が必要
落下物の固定を確認し、安全な空間の確保
4. 9/10(火)緊急避難持ち出し袋の点検
必要最低限のものをチェック
5. 9/13(木)防災訓練の実施
参加者メンバー15名 アシスタント16名
内容:南海トラフ地震大津波を想定した避難・持ち出し及び垂直避難訓練
6. 10月 家庭への災害時の避難についての調査を実施
アンケート回答:半数以上が避難をしないを選択、避難後はほぼ全員が支援を必要とする
7. 10/17(火)防災研修 災害時の各マニュアルの確認
①耐震性・家具の固定 ②ハザードマップ+標高 ③緊急避難所 ④備蓄品等
8. 今後の課題 ~防災意識の強化~
・シェイクアウト訓練を定期的に行う
・建物の耐震性、危険個所の点検



津波による想定 浸水2.8m

到達時間100分

(ハザードマップより)

災害時の避難に関する調査カード集計 27/31人

1	避難する場所について	決めている	12	決めていない	15
2	避難時の支援について	必要	11	避難しない	16
3	自主防災組織による安否確認の方法	ある	11	ない	16
4	避難後の支援	必要	26	不要	1
5	事業所との対応方法の取り決め	ある	3	ない	24
6	避難所先の必要な支援について	全介助・部分介助			
		車いすでの移動・座位不可・寝たきり			
		水分補給・食事・きざみ・とろみ・ミキサー食			
		薬・てんかん・吸引・医療機器等の医療的ケア			
		着替え・トイレ・おむつ・パッド交換			
		コミュニケーション(意思疎通が困難)			

辺野古・大浦湾のサンゴと海亀

島 しづ子

みなさま お元気ですか？最近沖縄に来られる方も増えています。私自身も飛行機で出かけることが増えました。昨日(10月7日)は海上行動に参加しました。辺野古新基地建設抗議船は船長二人が揃わないと船を出せません。カヌーチームは抗議船と一緒にないと海上活動ができないので、船長二人の確保は大事です。私は船長として担当日に体調を整えて現場に向かいます。

辺野古の町に「ちゅらそば」という店があります。オーナーのリリーさんは美味しいランチを提供しています。よもぎが練り込まれた沖縄そばは美味しいです。キャンプ・シュワブの海兵隊員も訪れます。私の孫みたいな年齢で、幼さが残っています。彼らのほとんどが社会環境の厳しい場所から来ています。戦争は貧しい者を戦場に駆り立てて、貧しい者同士を殺させる残酷なものだと思います。戦争のほんとうの敵は、若者を差し出している政治の在り方だと痛感します。

台風が来ると、大浦湾に置かれている土砂台船など工事に関する船は撤去されて、一時的に美しい大浦湾が出現します。沖縄の台風は基地建設を一時中止させ、サンゴの生息している海水をかき混ぜ、水温を下げてくれるので、被害がない限り歓迎すべきものです。

全国各地の台風や大雨の被害に異常気象や自然破壊の結末を見る気がします。今年は沖縄も暑くて「この暑さは異常だね！」と言いながら過ごしました。全国の「クーラーの中でお過ごしください」という注意を聞きながら、「クーラーの無い人はどうするの？」と思いました。地球温暖化のたまたま異常気象を語らず、根本的な対応をしようとしなくて驚いています。

今年、沖縄県のサンゴは高水温による白化が進みました。あまりの暑さにサンゴと共生している褐虫藻が抜け出した現象です。水温が下がり褐虫藻が戻って来てくれたら再生するサンゴもありますが、多くのサンゴが死にました。白化のピーク時の大浦湾の海水温は33度もありました。大浦湾や辺野古沖でたくさんのサンゴの白化現象を目の当たりにして世の末を感じました。サンゴはアマゾンの森よりもたくさんの酸素を地球上に送り出しているそうです。しかもサンゴの周囲には多くの生物が生息しています。サンゴは豊かな海を育み、地球温暖化を遅らせてくれています。

「酷暑につきクーラーの中で過ごしてください」と言うなら、地球環境を破壊する戦争と戦争準備を止めることこそ大事じゃないかと、私は怒っています。

昨日の海の空は晴れ渡り、綺麗でした。ところが雨雲がどんどん船に近づき、あっという間に船は土砂降りに巻き込まれました。いつも雨雲には気を付けていますが、昨日の雨雲の速さは特別でした。土砂降りで見えにくい中、メイン船長と必死で目を凝らして船を進めました。五里霧中という言葉がありますね。メイン船長は突風と雷が心配だと言ってましたが、幸い、豪雨だけでした。必死に豪雨を抜けて、辺野古の護岸に戻って来ました。すると10匹もの海亀に遭遇しました。いつもはあっという間に見えなくなる海亀たちが悠々と泳ぐ姿を堪能できました。そこは新基地のための人工護岸が1キロ以上も続き、高さが数メートルになった場所です。海亀は産まれた場所に戻って産卵するそうです。すでに彼らが産まれた場所は埋立てられてしまいました。彼らはさまよいながらどこに産卵するのでしょうか。海亀に遭えるのは嬉しいことですが、彼らの帰る場所がないことに言葉を失います。このような訳で、私はこれからも身体が続く限り海に出ます。

みなさんもそれぞれの大事なたかひをと祈ります。





NPO法人愛実の会寄付者名(敬称略・順不同)

2024年7月1日～2024年 10月31日



★ 寄付金

杉本 誠	柏木 實	水野 享好
住田 貞次	矢口 由美子	下村 徹嗣
島田 恵子	伊藤 久子	高田 よし子
真木 芳子	島 しづ子	佐藤 眞理子
武井 陽一	藤原 信子	二村 明美
野崎 典子	加藤 由美子	橋口 洋
五十嵐 靖	足立 克己	阿部 健二
水戸 潔	柴田 京子	堀尾 勇夫
矢澤 綾子	伊藤 あつ子	戸田 真二
榊原 喜代子(複数回)	吉谷 尚之(複数回)	
京都みぎわキリスト教会	中部学院大学	

★ 夢づくり

田中 孝子	矢澤 綾子	石崎 亮史朗
小川 弘樹	和田 芳子	川口 いづみ
五十嵐 靖	牧野 みゆき	(株)IR
牧野 雅樹	後藤 宣彦	



★ ボランティア

名古屋ワイズメンズクラブの皆さん

南山ハーベストクラブの皆さん

2024年度の寄附金目標額 180万円～に対して、10月末でおおよそ60万円の寄附金が集まりました。皆様のご協力ありがとうございました。目標達成に向け今後とも皆様方のご支援をお願い致します。

NPO法人愛実の会は名古屋市が認定した『認定NPO法人』です。当法人は、公益事業を行う法人として、税制面で優遇を受けています。寄附をしていただいた翌年の確定申告時に、当法人が発行する寄附金受領証明書を添付することにより所得から控除を受けられます。お送りしました寄附金受領書は確定申告まで大切に保管をお願いします。

職員異動

・若代 奈美 生活支援員 正職員 (大地の家)

5月より大地の家で働いています若代です。メンバーの皆さんと新しい体験やお話をするのを楽しみにしています。至らぬ点があるかと思いますが精一杯頑張ります。これからもよろしくお願ひします。

・中村 真由美 生活支援員 アルバイト (紙風船)

8月より紙風船でアルバイトとして勤めさせていただく事になりました。初日から優しく声をかけて教えてくれる皆さんと頑張って役に立てるよう努めていけたらいいなと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

・泉澤 祥子 パート (厨房)

6月より厨房で働かせていただいております泉澤です。みなさんにおいしい料理を安心して食べていただけるよう頑張ります。よろしくお願ひ致します。

・宮川 昭明 生活支援員、ヘルパー兼務 パート (大地の家・居宅介護事業所あみ)

ボランティアさん募集中です。ご興味のある方はお気軽にお問合せください。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動 (NPO) 法人 愛実の会

□ 障がい者デイセンター愛実 (生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889

□ 居宅介護事業所あみ (ホームヘルプ)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL: 052-693-7645 FAX: 052-746-2639

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1000円 何0でも結構です

◆ 寄付金 (賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用)

◆ 紙風船夢づくり (人形劇制作費、公演活動に関する費用)